



株式会社協和日成

証券コード：1981

2026年6月1日（月）

# 2026年3月期決算説明会資料

Keep the Life line.  
ライフラインを支える



## 目次

1. 2025年度（2026年3月期）決算について
2. 中期経営計画「Triple“S”」の進捗について
3. 2026年度（2027年3月期）業績見通し
4. ご参考資料



## 目次

1. 2025年度（2026年3月期）決算について
2. 中期経営計画「Triple“S”」の進捗について
3. 2026年度（2027年3月期）業績見通し
4. ご参考資料

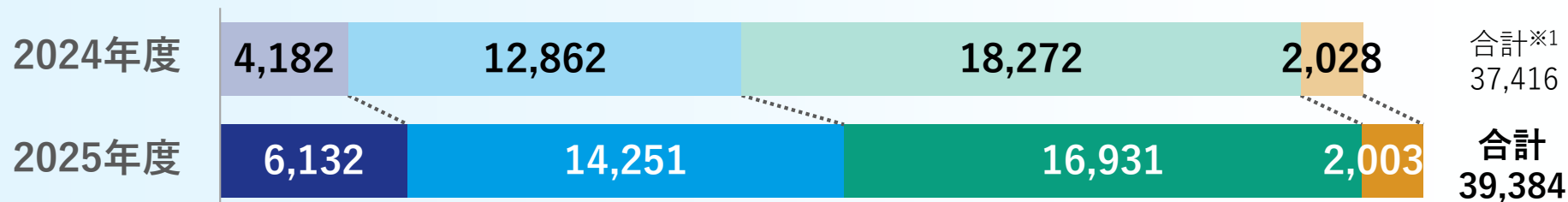
# 損益計算書（要約）

建築設備事業の牽引で売上高は前期比5.3%増加。他方でガス導管事業、電設・土木事業における低利益率物件の完成増加、販売費および一般管理費増加等で、営業利益・経常利益は減少。最終利益は賃上げ税制の優遇措置適用で増加。

(百万円)	2025年度 実績※1	2024年度※2	2024年度比		2025年度 予想	予想比	
			(金額)	(%)		(金額)	(%)
売上高	39,384	37,416	+1,968	+5.3%	38,100	▲1,284	+3.4%
営業利益	1,369	1,483	▲113	▲7.7%	1,420	▲50	▲3.6%
経常利益	1,627	1,674	▲47	▲2.8%	1,630	▲2	▲0.1%
当期純利益	1,194	1,133	+61	+5.4%	1,130	+64	+5.7%
【参考】 期初手持工事高	18,224	19,040	▲815	▲4.3%	-	-	-

## 【セグメント別売上高】 (百万円)

■ 建築設備 ■ ガス・機器設備 ■ ガス導管 ■ 電設・土木



※1) 2025年度より建築設備事業で計上していた一部工種をガス・機器設備事業で計上することとしたため、2024年度実績は決算短信等で公表している数値とは相違がございます。

※2) 合計金額には外部顧客に対する工材販売手数料等の金額（2024年度69百万円）を含めております。

# 決算のポイント

## 売上高の増減

## 前期比+1,968百万円

### 建築設備事業

#### 前期比+1,949百万円

- 給排水衛生設備工事やGHP※<sup>1</sup>工事の受注が好調。工場営繕工事での大規模物件の完成が増加。
- GHPメンテナンスにおいて大規模な修繕工事が完成。リノベーション工事※<sup>2</sup>も順調に推移。

### ガス・機器設備事業

#### 前期比+1,388百万円

- ガス設備工事や集合住宅の給湯・暖房工事において、受注が好調に推移。
- 取引先の着工数減少の影響を受けていた戸建住宅の給排水設備工事が回復基調。

### ガス導管事業

#### 前期比▲1,340百万円

- 東京ガスネットワーク株式会社における工事内容や施工エリアの特性が変化したことなどを背景に、同社の設備投資計画に伴う工事の完成が減少。

### 電設・土木事業

#### 前期比▲25百万円

- ゴルフ場のイリゲーション工事※<sup>3</sup>において、複数の大規模物件が完成。
- 一方で、東京都水道局関連工事の受注が低調であった影響で減収。

※1) ガスヒートポンプエアコン

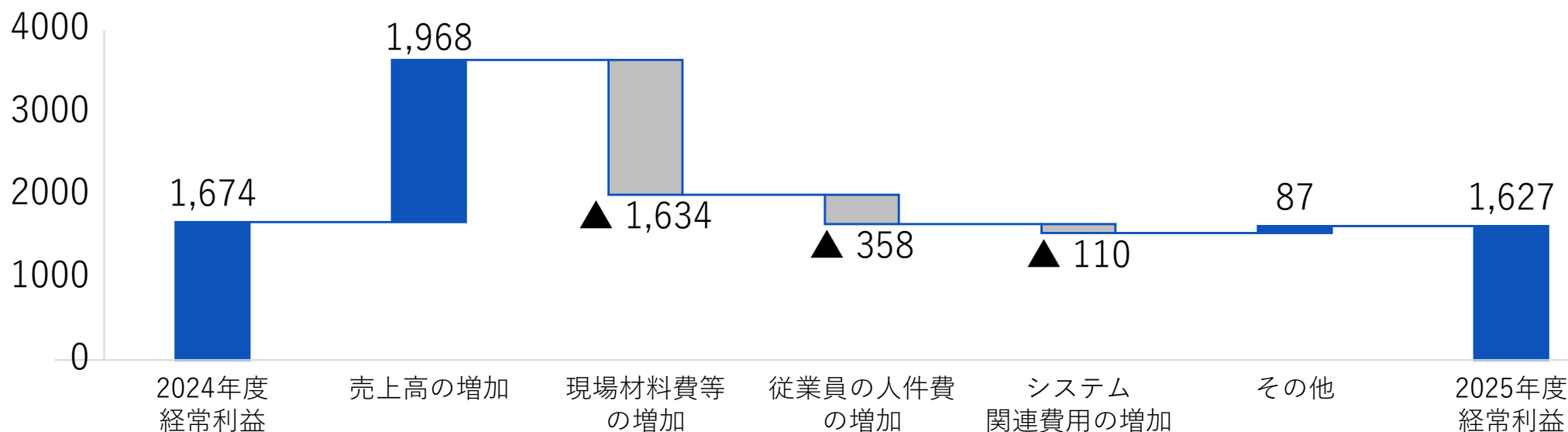
※2) 排水管ライニング工事を含めた改修工事

※3) 緑化散水設備工事およびクラブハウス等の設備工事

# 決算のポイント

経常利益の増減

前期比▲47百万円



## 【主なポイント】

- 材料費の増加に加え、ベースアップ等による人件費の増加や、新基幹システム導入に伴うシステム関連費用の増加。
- 人的資本投資は、採用強化に伴う採用関連費用が増加した一方で、前年度に計上していた人的資本プロジェクトに係るコンサルティング費用が減少したことにより、増減額は概ね相殺。
- これらの結果、経常利益は前年同期比で微減。

# 貸借対照表（要約）

(百万円)	2024年度末	2025年度末	前期比
<b>資産の部</b>			
流動資産	17,002	17,458	+455
固定資産	11,355	12,233	+878
有形固定資産	6,160	5,972	▲187
無形固定資産	477	387	▲89
投資その他の資産	4,718	5,873	+1,155
資産合計	28,357	29,691	+1,334
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,940	9,021	+81
固定負債	547	890	+342
負債合計	9,487	9,911	+424
<b>純資産の部</b>			
株主資本	17,880	18,074	+193
評価・換算差額等	989	1,705	+716
純資産合計	18,869	19,779	+910
負債純資産合計	28,357	29,691	+1,334

## 【主なポイント(前期比差額)】

- 流動資産
  - 現金及び預金 +404百万円
  - 完成工事未収入金及び契約資産 +540百万円
  - 未成工事支出金 ▲780百万円
- 流動負債
  - 工事未払金 +227百万円
  - 未払費用 ▲103百万円
- 固定負債
  - 長期繰延税金負債 +312百万円
- 純資産
  - 利益剰余金 +239百万円
    - 内) その他利益剰余金 +239百万円
    - 内) 繰越利益剰余金 +241百万円
  - 自己株式 ▲49百万円
  - その他有価証券評価差額金 +719百万円

# キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2024年度	2025年度	前期比
期首現金および現金同等物の残高	7,925	6,777	▲1,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,108	1,958	+849
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,035	▲516	+519
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,221	▲1,037	+183
期末現金および現金同等物の残高	6,777	7,182	+404

## 【2025年度キャッシュ・フローの主な内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - 税引前当期純利益 +1,623百万円
  - 減価償却費 +369百万円
  - 賞与引当金の増減額 (▲は減少) +41百万円
  - 売上債権の増減額 (▲は増加) ▲512百万円
  - 未成工事支出金の増減額 (▲は増加) ▲410百万円
  - 未成工事受入金の増減額 (▲は減少) +780百万円
  - 仕入債務の増減額 (▲は減少) +227百万円
  - 受取利息及び受取配当金 ▲148百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - 有形固定資産の取得による支出 ▲83百万円
  - 投資有価証券の取得による支出 ▲709百万円
  - 投資有価証券の売却による収入 +300百万円
  - 無形固定資産の取得による支出 ▲19百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - 自己株式の取得・配当金の支払額 ▲1,037百万円



## 目次

1. 2025年度（2026年3月期）決算について
2. 中期経営計画「Triple“S”」の進捗について
3. 2026年度（2027年3月期）業績見通し
4. ご参考資料

# 中期経営計画 概要①

## 目指すべき姿

100年企業に向かって「SHINKA」し続けるために、「株主還元の強化」、「事業戦略」、「サステナビリティの推進」、「経営基盤強化」の4つの重要施策を展開することで、**3つのSHINKA**を目指す。

### 進化

これまで培ってきたノウハウ、技術を生かし、一括受注・施工体制のさらなる推進を目指す。



### 深化

既存事業領域の深耕拡大と株主・投資家との良好な対話やIR活動のさらなる強化を目指す。



### 新化

多機能化などの人材育成強化および生産性向上と基幹システムの刷新による業務効率化を目指す。



## 重要施策

株主還元  
の強化



事業戦略



サステナビリティ  
の推進



経営基盤強化



# 中期経営計画 概要②

## 定量目標

単位：百万円

### 【売上高・経常利益率】

2027年度目標

**400億円・4.5%以上**

### 【ROE】

2027年度目標

**6.5%以上**

### 【投資計画】

2024年度比

**7.4億円以上**

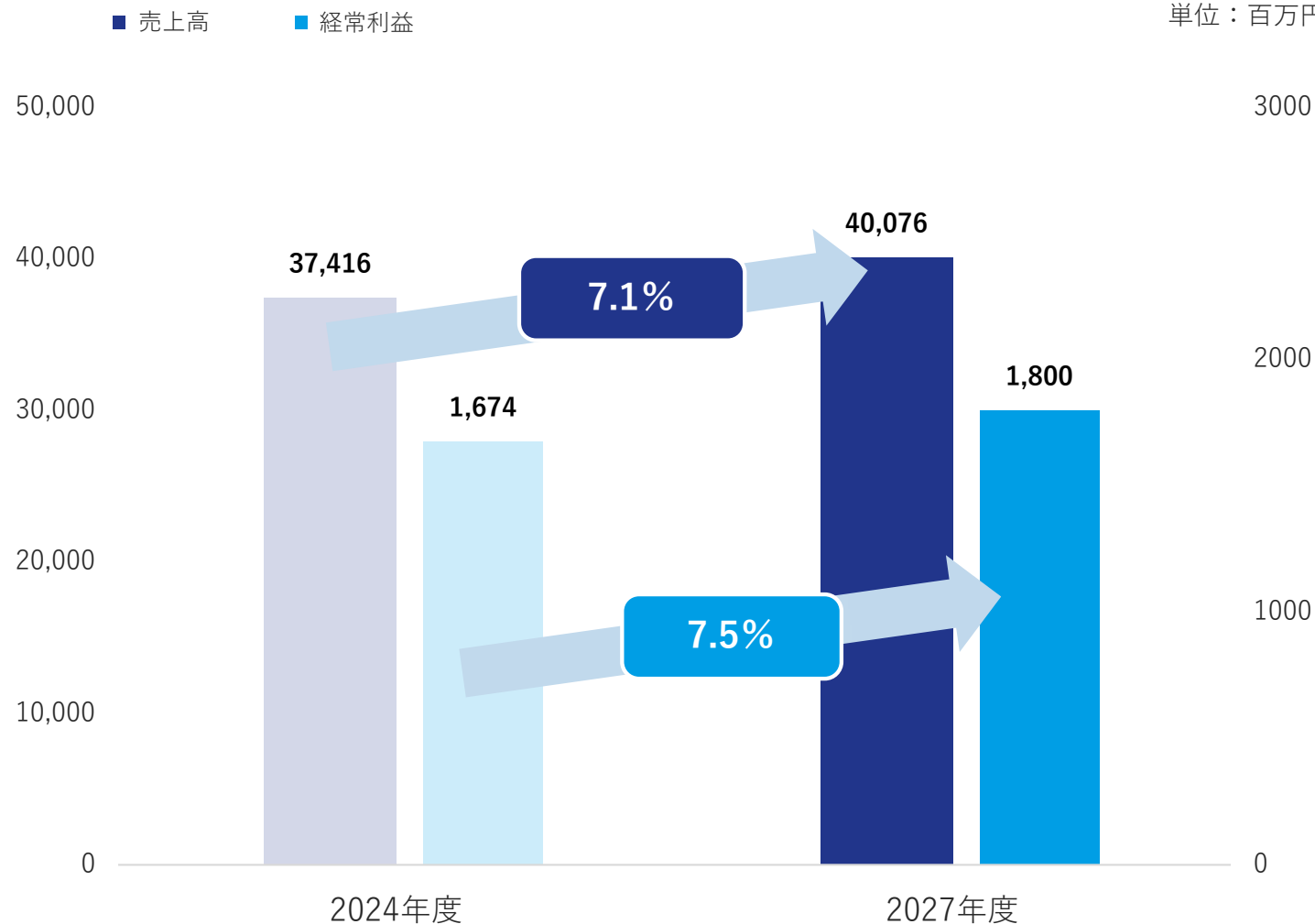
(2025年～2027年累計)

### 【株主還元】

中計期間中の配当性向を

**50%へ引き上げ**

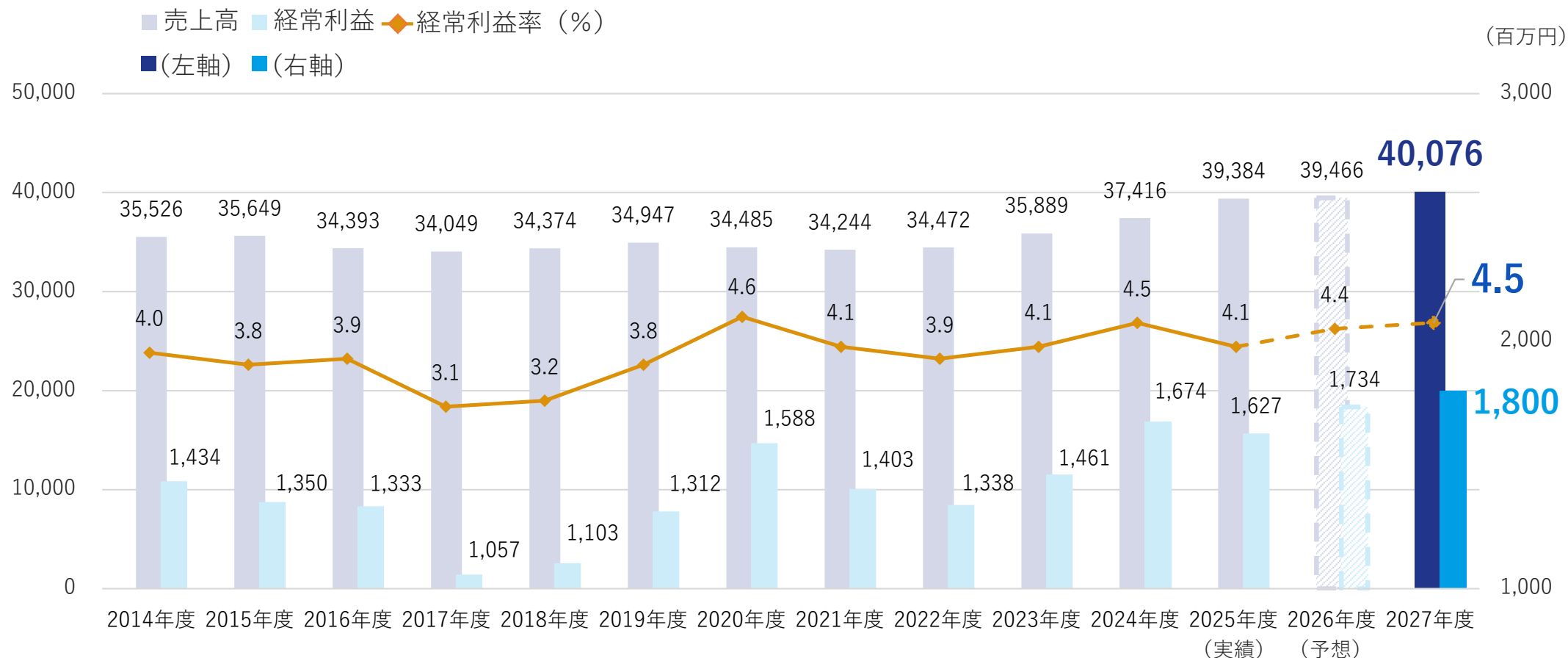
機動的な自己株式取得を検討



# 売上・利益計画

## 目標とする経営指標

企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視しており、中計最終年度には売上・利益を拡大し、経常利益率**4.5%**以上を目指す。



前中計「STEP2024」

中期経営計画

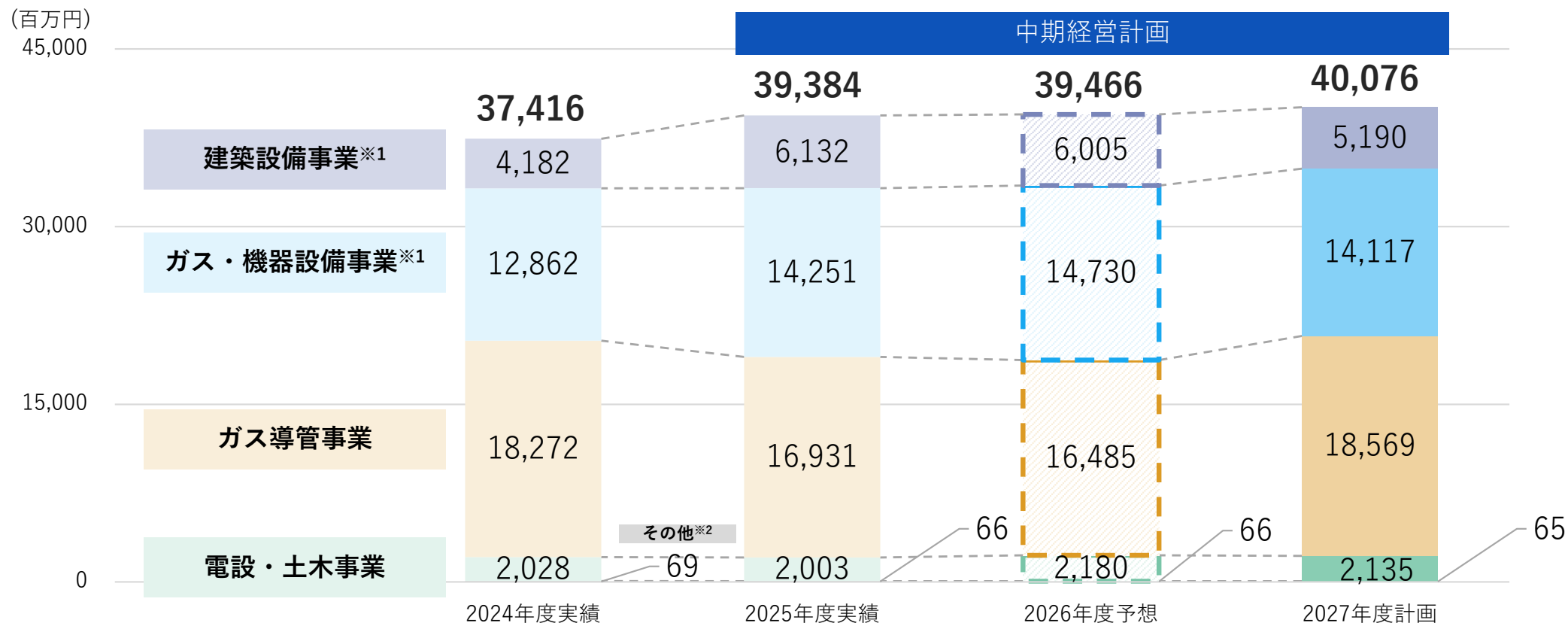
# 売上計画（セグメント別）

## セグメント別売上計画

建築設備事業は、2025年度は大型案件の完成もあり、中期経営計画の初年度で最終年度の目標を達成。

2026年度は今のところ当初計画通りの進捗を想定。

今後も、受注・施工体制整備に注力し、収益基盤の多角化を推進。



※1) 2025年度より建築設備事業で計上していた一部工種をガス・機器設備事業で計上することとしたため、2024年度実績は決算短信等で公表している数値とは相違がございます。

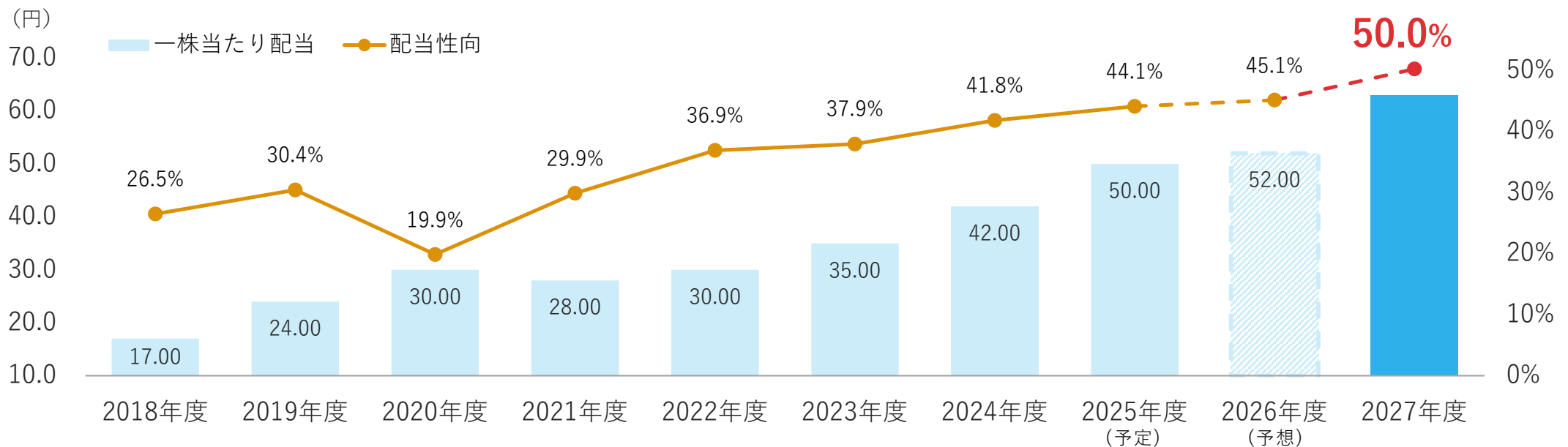
※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額。

# 株主還元強化

## 配当方針（2025年5月公表）

### 今中期経営計画期間中（2025～2027年度）

- 業績および経営環境や今後の事業展開に向けた内部留保を確保しつつ、長期的かつ安定的な配当を維持することを基本とする。
- 業績に応じた配当を検討する上で、2027年度には**配当性向50%を達成することを目標**に、40%からの引き上げを図る。
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある。



# 株主還元の強化（資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について）

## 改善に向けた方針・目標

### 1. 利益の引き上げ

- 売上高の拡大に加えて業務効率化等で経費を抑制し、利益を引き上げる

### 2. 配当性向

- 配当性向40%から50%に引き上げ

### 3. 自社株取得

- 引き続き機動的な自己株取得を検討

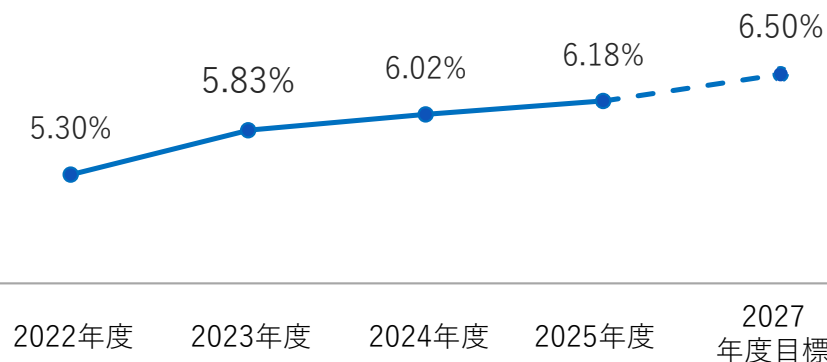
### その他施策

上記施策のほか、

- 積極的なIR活動の実施（機関投資家向け決算説明会、個人投資家向け会社説明会、各種媒体の活用など）
- 政策保有株式の縮減

2027年度にROE6.5%を目指す

ROE※1



PBR1倍以上を目指す

※1) ROEは、2025年度第1四半期の決算説明資料より、有価証券報告書と同様に自己資本の期中平均を用いて算出しており、過去推移についても同基準に基づき調整しております。

# 事業戦略における主なトピック

## 事業名

## 評価

## 2025年度の進捗

建築設備事業/  
ガス・機器設備事業



- 総合設備事業のさらなる推進策として、営業・施工体制の整備を推進。一時的な大規模物件の受注完成もあり、初年度としてはおおむね計画どおり順調に進捗し、一定の成果を実現。
- 建築設備事業において、5年間の育成を経た若手人材が現場代理人として独り立ち可能な水準に到達。

ガス導管事業/  
電設・土木事業



- 当社および協力会社の人材活用に向けて、拠点へのヒアリングや協力会社への教育機会を通じた課題抽出・フィードバックおよびフォローを実施、協力会社との良好な関係を維持。
- ITを活用した業務改革の一環として、ウェアラブルカメラを活用した遠隔管理現場における若手監督支援の実施と、取り組み内容の拠点間共有を実施。
- ガス導管班の多機能化に向けて、電設・土木事業における水道工事等の土木工事対応を推進（導管・電設分野を横断的に担う体制構築を継続）

その他



- アジア市場の成長を踏まえ、将来的な技術力確保に向けた検討の一環として、外国人材受入れに関する社内検討を開始。初年度は、体制整備に向けた情報収集および現地視察等を実施。
- 新基幹システムを導入するとともに、営業支援システムおよび受発注システムとの一部連携を開始。担当者の習熟を進めている段階にあり、業務効率化の効果については引き続き検証。

# サステナビリティの推進・経営基盤の強化

## 2026年度3月期トピックス（サステナビリティの推進）

- ✓ **インフラメンテナンスの推進によるレジリエンスの向上**  
ガス導管における経年管について、耐久性の高いPE管への入取替を推進。ねずみ鋳鉄管の入取替を完遂し、新たな管種の入取替に着手
- ✓ **心地よい住環境の実現**  
給排水衛生設備工事の強化により、公衆衛生の改善、QOLの向上に貢献

## 経営基盤強化

### 人的資本の強化

#### 取り組み例

従業員エンゲージメントの向上

→タウンホールMTG（年6回）の実施

社員の学びへの支援

→一部施工班による電設土木部受注工事施工の実施

ワークライフバランスの推進

→2026年度から休暇制度の見直しを決定

デジタル技術活用による生産性・効率性の向上

事業基盤確保に向けたM&Aの実施

品質、技術力、顧客サービスの向上

健康経営の推進

現場力を強化することで  
ESG推進力も向上

## サステナビリティ推進

環境商材の拡販

環境負荷

脱炭素化・省エネに寄与

CSR調達制度の運用

協力会社

双方向コミュニケーションの活性化による  
良好な関係性の強化

企 上

施工キャパシティの拡大

ビジネス機会

受注拡大・受注機会の取りこぼし防止

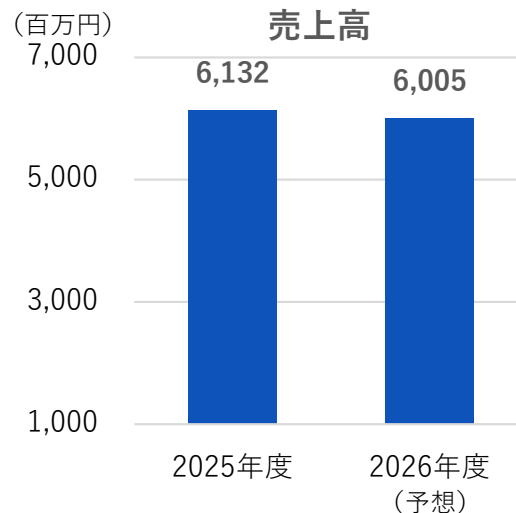
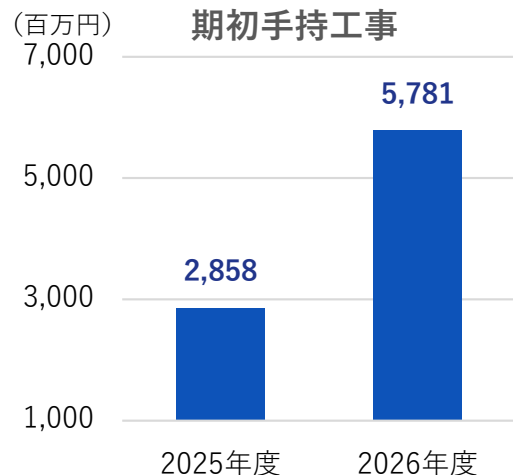


## 目次

1. 2025年度（2026年3月期）決算について
2. 中期経営計画「Triple“S”」の進捗について
3. 2026年度（2027年3月期）業績見通し
4. ご参考資料

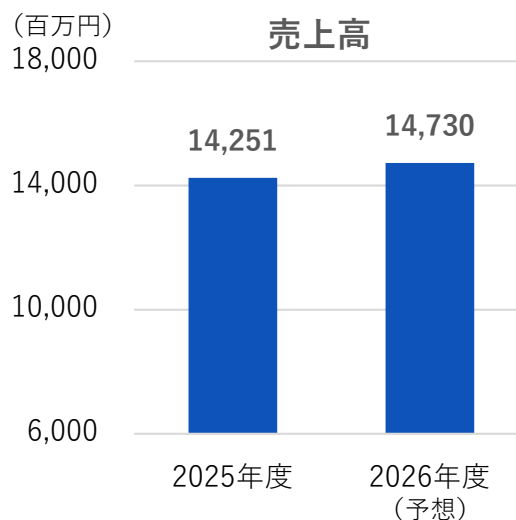
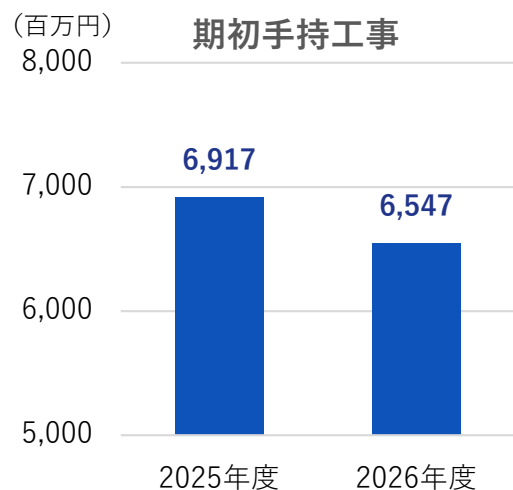
# 事業環境の見通し

## 建築設備事業



- ✓ 企業の底堅い設備投資意欲を背景に、集合住宅等に関連した給排水衛生設備工事や工場における営繕工事を中心として、概ね堅調に推移することを想定
- ✓ 一方で、前年度にあった大規模なGHP（ガスヒートポンプエアコン）工事案件のはく落により、当該工事の売上の減少を見込む
- ✓ ベテラン社員から若手社員への技術伝承を促進し、より安定した施工体制の構築に取り組む方針

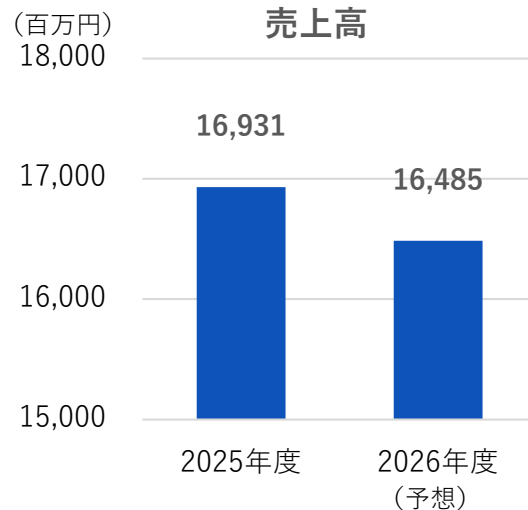
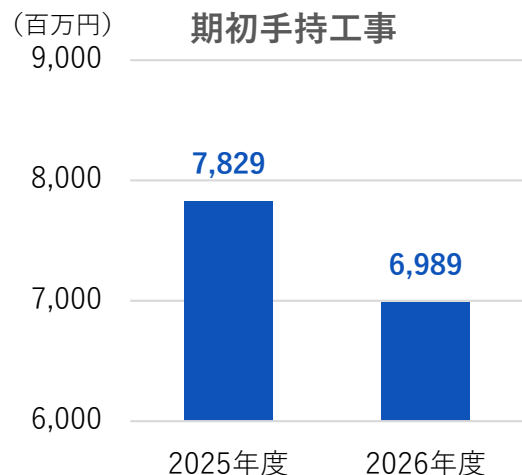
## ガス・機器設備事業



- ✓ 施工エリアの拡大、シェア率の向上に取り組み、概ね堅調に推移することを想定
- ✓ 脱炭素社会へ向け、引き続き太陽光発電・蓄電池等の環境商材の需要が見込まれる
- ✓ 旺盛な工事量に対し、若手社員の育成と施工体制の効率化を推進し、品質向上にも努める方針

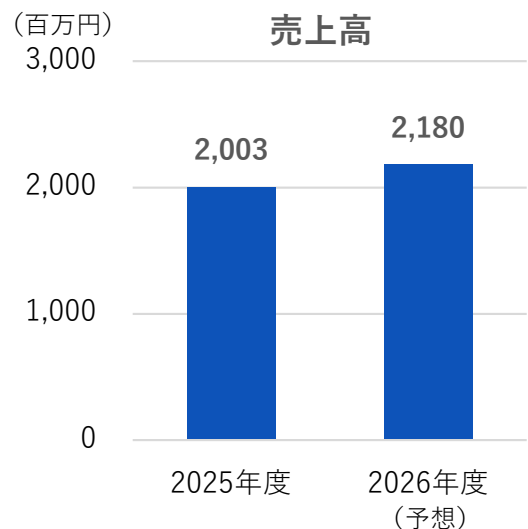
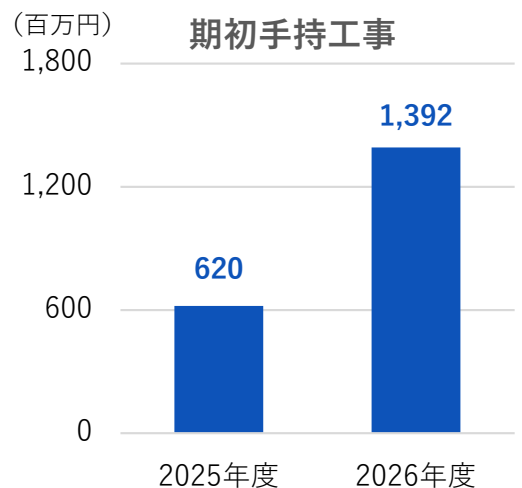
# 事業環境の見通し

## ガス導管事業



- ✓ 工事内容や施工エリアの特性は変化しているものの、ガス事業者の設備投資計画に基づく工事の受注は、概ね前年度並みを見込む。なお、静岡・北海道エリアは前年度比で若干低調に推移することを見込む
- ✓ 需要動向の変化に応じて施工体制を柔軟に見直し・再構築しながら、効率的かつ機動的な施工体制の維持・強化に努める
- ✓ 各工事における採算管理を徹底し、施工品質の確保・向上を図る

## 電設・土木事業



- ✓ 東京電力パワーグリッド株式会社の設備投資計画に伴う管路埋設工事の期初手持工事は十分な水準を確保しており、堅調に推移することを見込む
- ✓ イリゲーション工事（ゴルフ場の緑化散水設備およびクラブハウス等の設備工事）も、引き続き主要取引先における設備の更新計画が見込まれる

# 損益の見通しおよび配当予想

住宅着工件数の増加予想、堅調な企業の設備投資意欲や、防災・減災対策の強化といった当社にとって追い風となる、良好な事業環境は今後も継続することが見込まれる。一方、足元で不確実性が高まりつつある中東情勢の影響は現時点では2026年度業績予想に未反映。今後、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示予定。

(百万円)	2025年度	2026年度 予想	前期比	
			(金額)	(%)
売上高	39,384	39,466	+81	+0.2%
営業利益	1,369	1,480	+110	+8.1%
経常利益	1,627	1,734	+106	+6.5%
当期純利益	1,194	1,208	+13	+1.1%
一株当たり配当金 (配当性向)	50円 (44.1%)	52円 (45.1%)	+2 (+1.0pt)	+4.0%
【参考】 期初手持工事高	18,224	20,710	+2,485	+13.6%



## 目次

1. 2025年度（2026年3月期）決算について
2. 中期経営計画「Triple“S”」の進捗について
3. 2026年度（2027年3月期）業績見通し
4. **ご参考資料**

# 企業スローガン・理念

## 企業スローガン

私たちは常に進化する強い意志を持ち、  
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

## 企業理念

### 存在意義

豊かな暮らしのために

私たちは、安心と心地よさを提供し、  
豊かな未来のためにライフラインを支え、社会に貢献します。

### 経営姿勢

お客さまから選ばれ続けるために

確かな技術と品質でお客さまに安心をお届けし、  
社員が安心して働ける職場環境をつくります。

きめ細かな感性でお客さまの信頼に応え、  
ひとを尊重しお互いを信頼し合える企業風土をつくります。

### 行動規範

羽ばたき続けるために

私たちは、常に感性を磨き、感じ・考え、自ら行動します。



# 会社概要

商号	株式会社協和日成
設立	1948年（昭和23年）9月15日
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資本金	5億9千万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場 <コード:1981>
代表者	代表取締役社長 川野 茂
建設業の許可	管工事業、土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、電気工事業、舗装工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、水道施設工事業、消防施設工事業、解体工事業
従業員数	797名（2026年3月31日現在）
売上高	393億円（2026年3月期）
グループ会社	3社（2026年3月31日現在）



環境と技術力、情熱とエネルギー、  
そして人、を表した  
コーポレートシンボル



# 当社のあゆみ

## 協和建興 1893~

- 1893 榎本組発足
- 1926 榎本組 東京ガス取引開始
- 1948 設立 榎本組、古屋組、村井組、大堀組の企業合同。協和管工事株式会社設立
- 1950 東京都指定水道工事店となる
- 1952 協和建興株式会社と改称
- 1954 静岡営業所(現静岡支店)設置。翌1955年 静岡ガス取引開始
- 1969 東京電力管路洞道工事指定工事店となる

2002 合併 株式会社協和日成 となる

## 日成 1958~

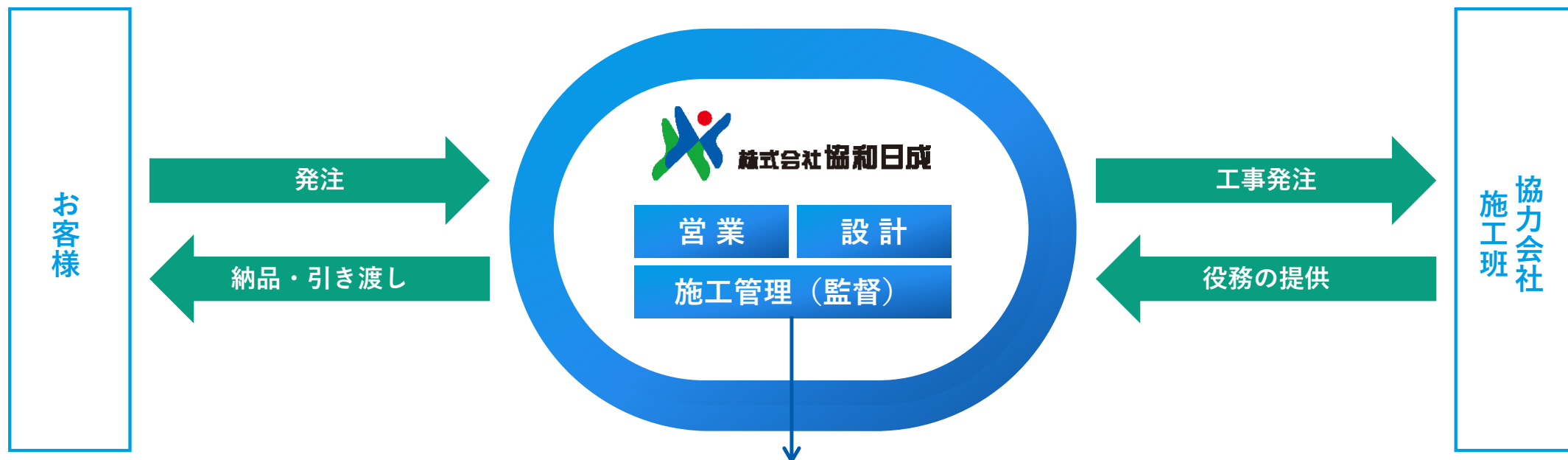
- 1958 森田組発足、東京ガス取引開始
- 1963 法人改組、日成建設株式会社設立
- 1970 上水道工事事部新設
- 1975 東京店頭承認銘柄として東京証券市場に登録
- 1979 総合設備工事部門新設、給排水衛生、換気、空調、プラント工事開始
- 1987 株式会社日成と改称
- 1993 札幌事業所(現札幌支店)設置



- 2003 北海道ガス取引開始
- 2015 本社所在地を現在の中央区に移転
- 2021 ガイアテック株式会社の株式を取得し、子会社化
- 2025 中期経営計画「Triple“S”」スタート

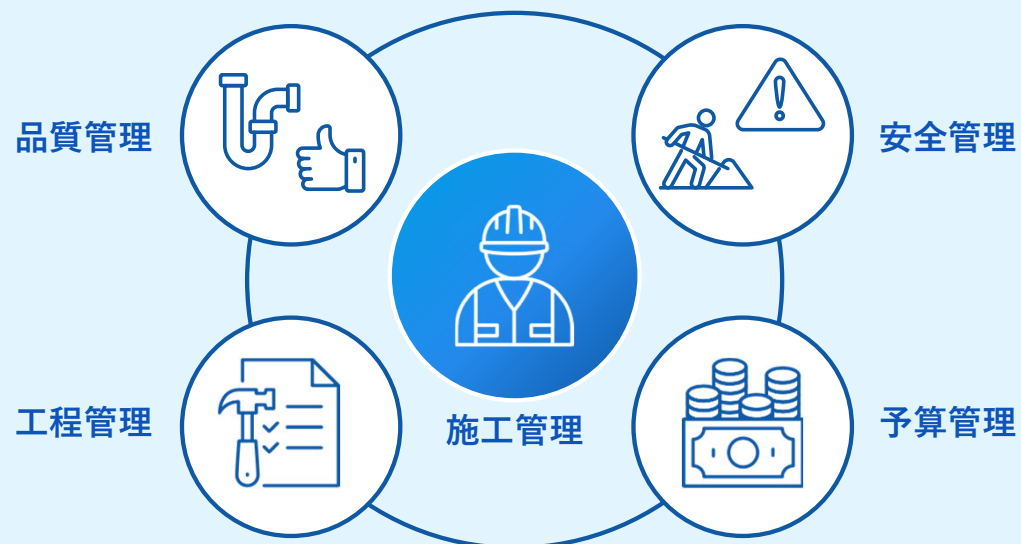
- 現建築設備事業
- 現ガス・機器設備事業
- 現ガス導管事業
- 現電設・土木事業

# 事業概要 ～協和日成の主な業務



## ■ 施工管理 (監督)

工事のマネジメントを担当する技術者。  
管工事施工管理技士など。



# 事業内容 ① 建築設備事業について

主な施工場所

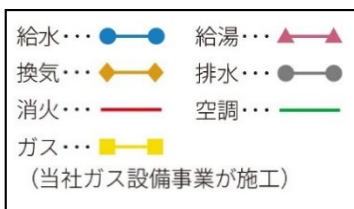
集合住宅

工場

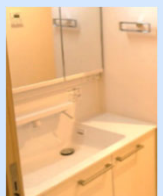
学校・福祉施設

商業施設

## < 集合住宅における施工範囲 >



キッチン



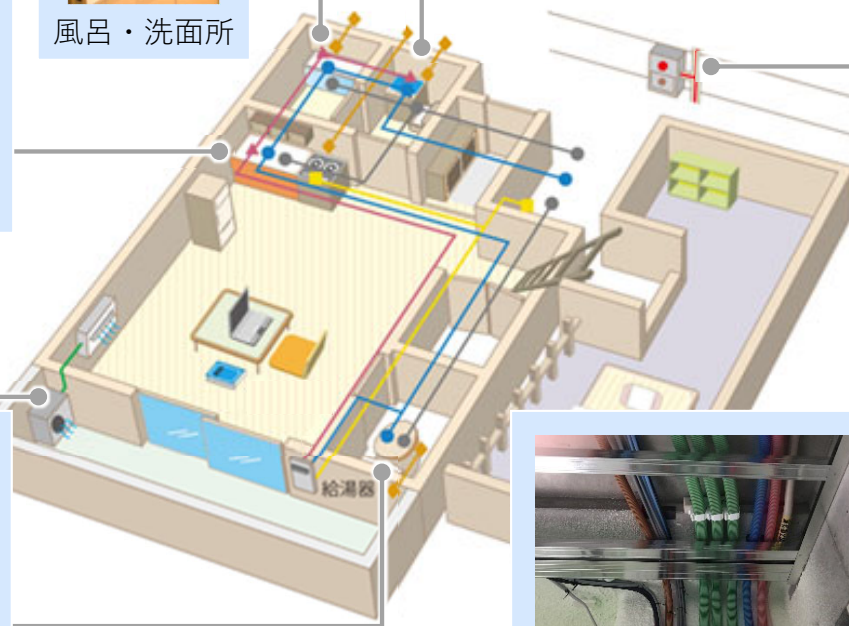
風呂・洗面所



洗濯パン



消火栓



### 【その他の設備工事】

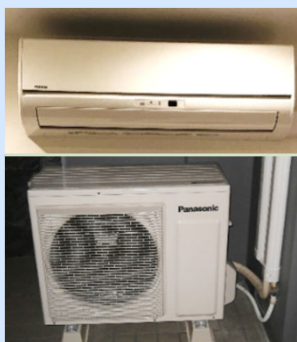
- ・ 厨房設備工事
- ・ 工場プラント工事
- ・ GHP（ガスヒートポンプエアコン）工事

### 【メンテナンス】

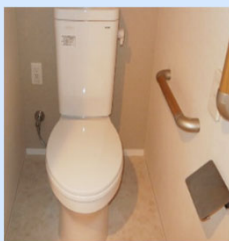
- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管  
⇒ NPL-III工法  
排水管  
⇒ DREAM工法

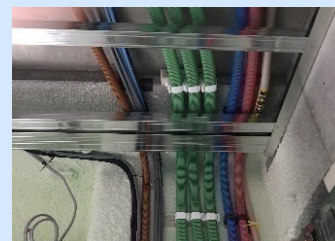
樹脂でコーティング ▶



エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管

# 事業内容 ②ガス・機器設備事業について 1/2

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

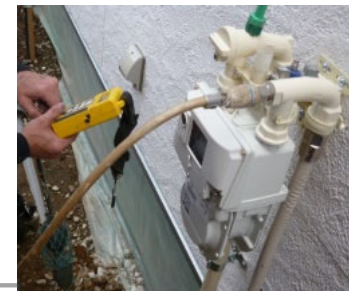
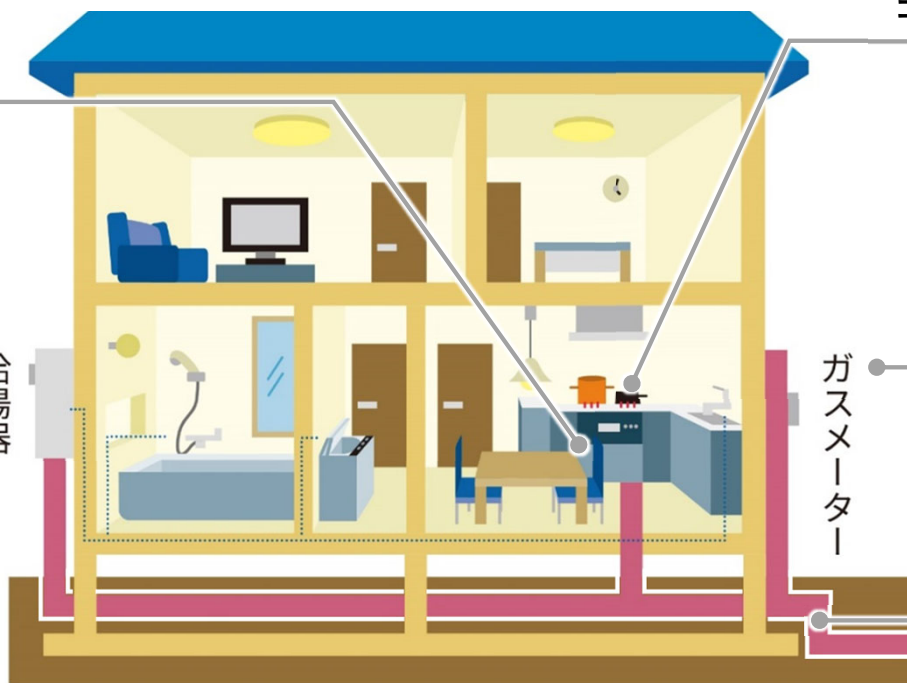
商業施設

## ガス設備工事



戸建イメージ

■ ガスの配管



東京ガス管内年間  
メーター取付数

約35,000個

(シェア約17%)

# 事業内容 ②ガス・機器設備事業について 2/2

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

## 暖房給湯・ 空調設備工事

戸建住宅のTES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



**エネファーム**  
(家庭用燃料電池  
コージェネレーションシステム)



## 床暖房 (TES)



## 乾太くん (ガス衣類乾燥機)



【エネファームのシステムイメージ】



## LCS工事・電気工事

戸建住宅の給排水設備工事および電気工事。



給湯配管



排水配管

## 太陽電池・燃料電池・ 蓄電池システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工管理・メンテナンスまで。

# 事業内容 ③ガス導管事業について

主な施工場所

地中

## ガス導管工事

### 経年管入取替工事

ガス事業者の設備投資計画に基づくガス導管の入取替工事。経年劣化による漏洩防止と耐震化のため、ポリエチレン管への入取替を行う。

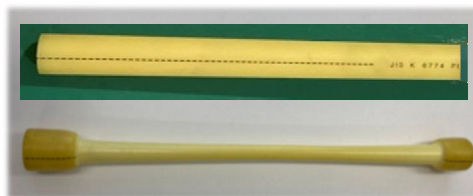
### 需要工事（新設工事）

ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設・延伸する工事。

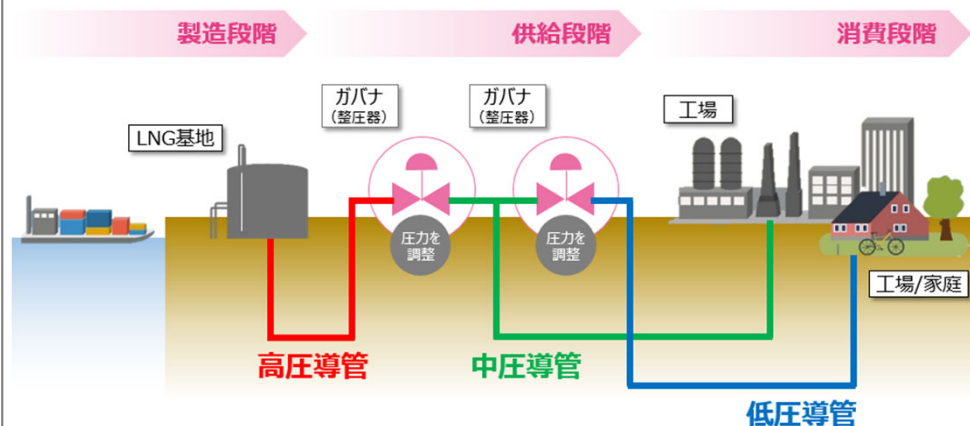
### ポリエチレン管

土中の水分で腐食せず、地震に強い柔軟性のある管。

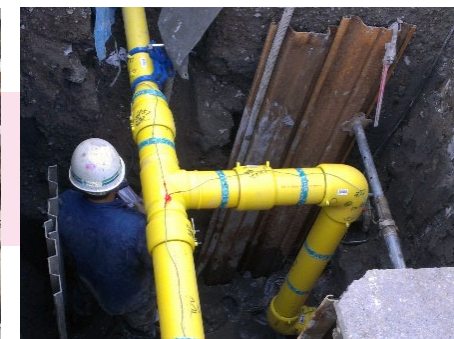
写真下：強い力をかけたポリエチレン管。破断していない。



## <ガスが届くまで>



大口径導管溶接工事



導管分岐部工事

## メンテナンス

### ガス導管修理工事

ガスの本管・支管に関わる修理工事。

### ガス漏れ緊急出動

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに関わる緊急調査・修理。24時間365日、出動に備えて待機。

# 事業内容 ④電設・土木事業について

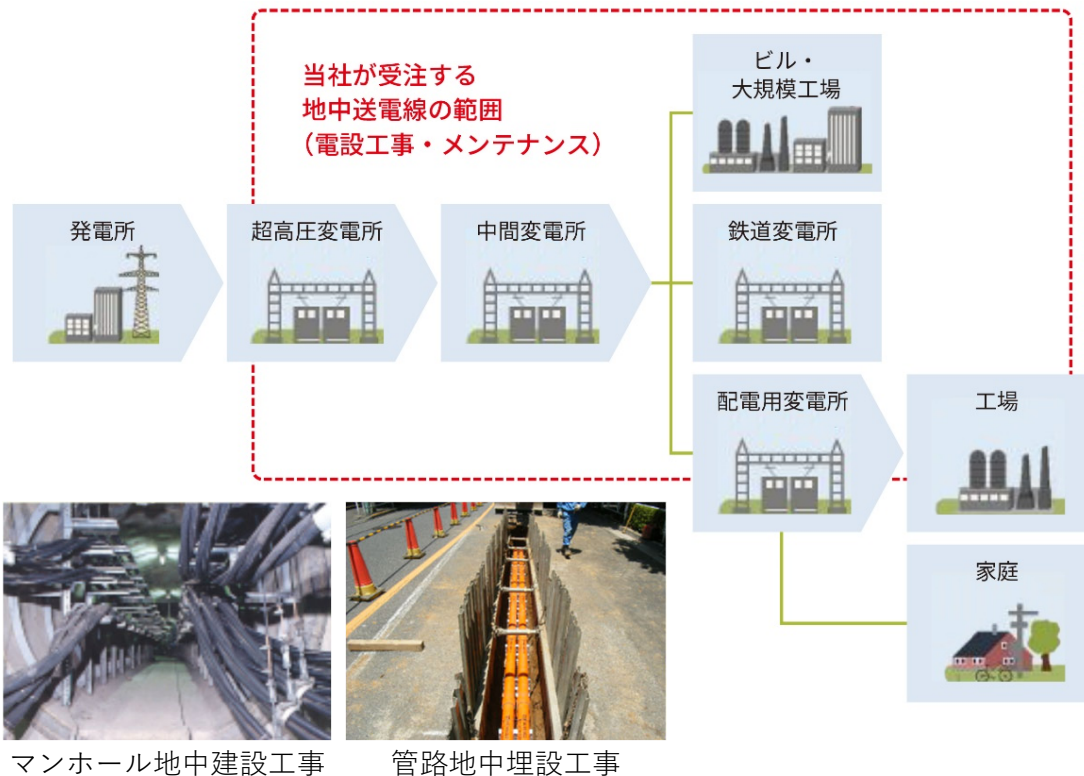
主な施工場所

地中

ゴルフ場

## 電設工事・メンテナンス

地中送電線を通すための管路埋設工事、およびマンホールの地中建設工事、点検・補修工事。



## 一般土木工事

上水道工事、道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

## イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース

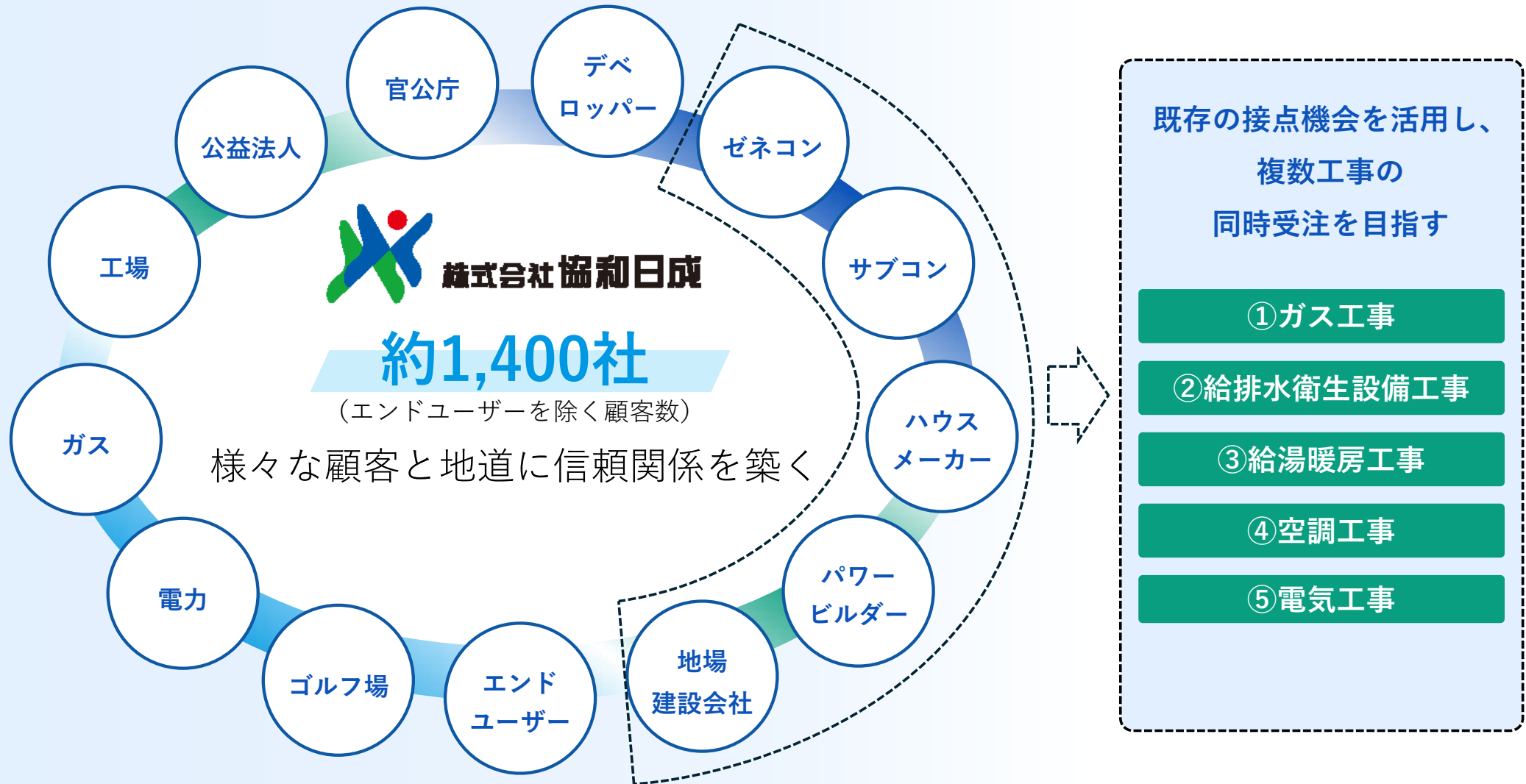


スプリンクラー  
取替工事



クラブハウス浴室  
シャワー水栓取替工事

# 当社の顧客チャネル



## ご注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画部

☎ 03-6328-5662

✉ [ir@kyowa-nissei.co.jp](mailto:ir@kyowa-nissei.co.jp)

※ 本資料の著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止いたします。